

渋沢栄一の生家付近を歩くハイキング

渋沢栄一が生まれ育ち、高崎城乗っ取り計画を相談したりしながら実際に歩いたであろう土地を、歩く距離感も感じながら自分たちの足でみなさんと一緒にたどってみたいとの企画です

開催日：10月13日(土)、主催：渋沢研究会 共催：『論語と算盤』輪読会 OBG 会

費用：3,000～4500円程度(参加人数によります)

尚、会計は新ハイ方式=費用明細を公開して、主催の係りも含めて割り勘

集合：王子 渋沢資料館前に朝(8:30) 現地での直接参加も可能ですのでご連絡ください。

概略のコース：王子からチャーターバスで深谷へ。

(車中で今回のハイキング開催の経緯や、渋沢研究会・『論語と算盤』輪読会の紹介、本日たどる史跡の概略 および 自己紹介などを行いながら向かいます)

深谷では「誠之堂・清風亭」をバスの中から見学(?時間によります)した後に、最初にレビューとして

① **深谷 渋沢栄一記念館** を訪れて、吉岡館長にごあいさつ。見学

次に

② **栄一の生家「中の家」** を起点にして (ここでいったんバスから離れて徒歩で)

時間が許せば 隣の渋沢元治記念館も立ち寄ってもよいかとも思います。

生家見学の時間に含めて考えてもよいようにも思います。

(生家には何度も訪れておられる方の場合には、生家は良いので

この際元治記念館を見ておこうか?と考えるようにと)

③ 尾高惇忠(藍香)の生家 . . . 中へは入れません。

④ 東ン家(宗助?)跡?

⑤ 渋沢喜作の家

⑥ 利根川の船着き場

⑦ 近所の諏訪神社 (栄一が血洗島に帰ると立ち寄った) 昼食(各自でお弁当を持参)

再度いったんバスに乗って、見学が可能ならぜひ ⑧ **日本煉瓦製造会社(工場跡)** の見学(打診中)

栄一が早い時期に起こした企業の1つで、近年まで実際に創業。

ホフマン輪窯と言う当時優れたドイツの技術を導入し、レンガの大量生産を可能にし、最近リニューアルされた東京駅や、迎賓館、1丁ロンドン街と呼ばれた三菱のビル群(?)が作られた。

深谷の振興にも大いに寄与した。

目下詳細につき深谷の方にご相談させていただき中です。

希望人数が17～18人以上集まらないとかえって割高になってしまうので、

これも良い機会と考え『論語と算盤 OBG 会』合同と言う形をお願いしました。

参加のご希望者は以下までご連絡をお願いいたします。(締め切り8月17日厳守)

世話役：鮫島員義 連絡先：mail-address same@shinhai.net Fax：03-3915-8110

(平日9:00から19時頃) (株)新ハイキング社 Tel：03-3915-8110

以上